

川崎医科大学附属高校

身上書記入例

35年連続全員合格(小学受験正会員)

カーサ・フェミニナ教育研究所

札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・京都・

大阪・神戸・岡山・広島・香川・福岡

TEL: 0120-53-2327

FAX: 0120-56-2327

<http://www.casa-feminina.com>

拝啓

青葉若葉の爽やかな季節となりました。先生方におかれましては益々ご健勝のことと存じます。この度、○○科医である私○○○は、医療法人○○クリニックを開業して5年目になります。おかげ様で多くの患者様にご支持を頂き、現在に至っております。母子家庭ではございますが、教育面ではご両親がいらっしゃる家庭と同じような教育環境で育てていきたいと常に思ってまいりました。子供の養育をしない父親とは○か月で別居し、○歳の時に調停離婚となつております。今では亡き祖母の介護をした祖父の支援や父親不在の中で育つてまいりました。代わりに優しい祖父が小さい頃はよく世話をしてくれており、父親代わりの存在であつたと思つております。今では亡き祖母の介護をした祖父の支援や介護を、私と一緒にしながら生活しております。

さて私の娘○○○が貴校への入学を希望し、入学試験の受験をさせて頂くことになりました。中学一年生の時から○○会場での学校説明会に親子で参加させていただき、川崎医科大学附属高校について知り、個別面談では○○先生のご指導の下、種々のご質問にお答えいただき、親子で受験について真剣に考えるようになりました。

中学二年生の○○会場での学校説明会の時には親子で参加予定でしたが、娘が○○を発症し、入院、手術となつてゐる時でした。私は、娘が患者自身となり、患者さん側の気持ち、看護師さんの声掛けや私の勤務している病院の医師同士の関わりについて肌で感じたことがこれから自分が夢見てゐる仕事に対して良い経験となり、考えるきっかけになつたのではないかと思います。

母としては○○科医として、緊急手術が必要そうな○○を疑い、病院に連れてこられたことで安堵しています。当日の会場で○○先生にお声をかけて頂き、娘が入院中で説明会に来られなかつたことを気にしていた旨をお伝えし、優しくお声がけいただいて親子共々うれしく思いました。

娘から夏休みの学校説明会に参加したいと希望して参加させて頂いた時、○○先生とも再会させて頂けたことで、ますます貴校へ進学し、将来の夢への気持ちを固めていく礎になつたと思ひます。娘は現在京都の○○中学校三年に在籍致しております。文武において意欲的で、中学校三年のコース分けの際に校長先生にコース選択の理由と将来の夢について記述するのですが、今までいろいろな人に助けて頂いてきたのでこれからは自分が助けていきたいと、貴校の受験を希望しております。トーナメント戦では強豪校が多い中、試合に出場し、個人戦のみならず団体戦も参加し、協調性を学び、団結できる力を得る体験が学べていると感じています。

人の為に尽くすことを大切にされ、地域の方々から愛される貴校にぜひ入学させていただき、その思いを実現すべく親子共々貴校への入学をこの度志願させて頂きました。貴校を専願で受験させていただきご縁を賜れました暁には、勉強はもちろん、親子共々様々な行事にご協力、参加させていただける事を夢見て、受験に挑ませて頂く所存です。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

謹白